

1 日時 令和8年6月5日(金) 10:00~11:30

2 場所 静岡県立横須賀高等学校 会議室

3 協議会 議事録(要旨)

(1) 学校運営協議会員の委嘱と日程確認等

本校から各委員宛て委嘱状を手わたした。

(2) 弁論大会審査

学校運営協議会員が本校生徒代表による弁論大会の審査をした。

(3) 校長あいさつ

本校校長の河西が以下を実施した。

ア 各委員宛て本校を善導するための協力要請

イ 生徒の活動紹介(工業コース生徒がレーザー加工機で作成した委員の名刺など)

(4) 自己紹介

各委員及び本校関係職員が自己紹介した。

(5) 役員選出

立候補が出なかった為、事務局が会長候補及び副会長候補を推挙した。推挙された両名が受諾したため本年度の会長及び副会長が決定した。

(6) 議事(進行:会長)

会長が「学校運営協議会設置規則第5条の確認と学校運営協議会の担当業務の確認」を行い、「学校を支えるために委員及び学校が一丸となって尽力すること」が示された。その後、会長の司会のもと、以下アからエが審議された。

ア 学校の概要・学校経営方針について(校長)

校長が学校経営計画の変更点と変更に至る経緯を説明したのちに、学校経営計画における「スクールミッション」「スクールポリシー及びスクールポリシー具現化の柱」について概況説明した。また、「GMC(グッド・マナー・チェック)」についても説明した。

委員から目標の評価目標の評価基準のパーセントの設定について、適切かどうか質問が出た。校長は基準は恣意的なものであって、本当はすべてを100%にしたいところだが、ひとつだけを100%に、残りは一律に80%にしたと回答した。なお、100%にした成果目標は「自分は学校で一人の人間として大切にされている」と答える生徒」である。

委員から、昨年度は図書館の利用率が低いことが課題であったが、今年度の経営目標ではどうかという質問が出た。校長は、今年度においては、目標を利用頻度ではなく、質的なものとしたと回答した。その成果目標は「読書を通して人生が豊かになると実感することがある」と答える生徒80%」である。

委員から、「グッドマナー」を意識した日常生活の大切さについて言及があった。校長からは、かつて用いていた「グッド・マナー・チェック」(20項目)の再活用に向けて進んでいることを回答した。

イ 教育課程について(副校長)

副校長が学校要覧の教育課程を説明し、今年度の職員を紹介した。また、今年度の年間行事予定の説明と昨年度の学校行事の様子を10数枚紹介した。

ウ 教育活動・生徒の状況について(各課長)

(ア)総務図書課

総務図書課長が令和8年度のPTA事業計画と危険等発生時対処要領を説明した。

(イ)学習支援課

学習支援課長が令和7年度の生徒異動および令和8年度開始事業（令和8年度入学生から新しい教育課程表に変更したこと、8時30分からの10分間を「あさかつ」の時間としていること、保護者授業参観期間には、1年生の保護者中心に来校があったこと）を説明した。

全日制の高校生活の仕組みでは、学校生活を続けるのが難しい生徒が増加傾向にあることを伝達した。

(ウ)生徒支援課長

生徒支援課長が令和8年4月以降の生徒指導の状況及び近年の生徒指導の状況を説明した。また、部活動の状況、スクールカウンセラーの利用状況並びに現状の課題について説明した。

(エ)キャリア支援課

キャリア支援課長が令和7年度卒業生進路状況、令和7年度の合否状況（進学及び就職それぞれについて）を説明した。

エ 質疑応答及び学校経営方針の承認

委員から意見質問等は特になく、学校経営計画と議事のすべては承認された。

委員との意見交換

- 委員から部活動の加入率について質問があり、学校は6割程度の加入率であると回答した。
- 委員から部活動削減についての質問があり、学校は昨年度から部活動検討委員会で対象部活動を決定して今年度初めに周知していること、現在の職員数を考えると更なる部活動削減の必要性があることを回答した。
- 委員から防犯カメラの運用状況について質問があり、学校は昨年度から継続して運用していると回答した。
- 委員から「横高に入学した生徒が、学校が楽しいって言いますよ」と教えてもらったことがある」との報告があった。
- 委員から“よこすかしろ栽培”や“レーザー加工機の操作”など様々な体験が生徒を大きく成長させ、地域活性化につながるとの発言があった。
- 委員から、「本校卒業生が出身中学校（大須賀中学校）に遊びに来た際に高校生活が楽しいと話してくれた。」と発言した。楽しい高校生活を提供している本校に感謝したいと発言した。
- 委員から「よこすかしろ」のおいしさや、食品としての機能性を付すことが商品価値を高める」との助言があった。学校は関係教科担当に伝達すると回答した。
- 委員から「弁論大会で生徒の意外な一面を知ることができたこと。」「本校は地域との密接な連携を武器に生徒の進路指導を行うことが望ましいこと。」が報告された。
- 委員から、登校が常ならない生徒への指導についての質問があった。校長からは、特別支援コーディネーターのもとチームを組んで対応していること、特別支援教育に深い知見を有する複数の職員から学んでいることを回答した。
- 委員から、インターネットにまつわるサポート詐欺についての心配を伝えられた。校長からは、5月に県教育委員会のDX課によるインターネット使用にまつわる研修を行ったことを回答した。
- 委員から、安全安心な学校づくりについて、学校経営計画書には（校内での）「防犯」の語句がないことを御指導いただいた。校長は、放課後や移動教室時に教室の施錠をしていることと、防犯意識を人権教育の中で達成していく旨を伝えた。

(7) 諸連絡（副校長）

副校長が校内行事及び今後の協議会の予定の確認を行った後に閉会を宣言した。

- | | | |
|---|---------------|--------------------------|
| ア | 6月 6日 | 文化祭（来賓として招待） |
| イ | 10月 9日 | 体育大会 |
| ウ | 10月 19日から 23日 | 秋の文化展 |
| エ | 1月から2月の一 | 第2回学校運営協議会の実施候補日（別途通知予定） |
| オ | 3月 1日 | 卒業式(来賓として招待) |